

船舶事故等調査報告書

平成21年12月24日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009門第25号	
事故等種類	運航阻害	
発生日時	平成20年12月29日 14時02分ごろ	
発生場所	大分県大分港乙津西防波堤灯台から真方位004° 2.15海里付近 (概位 北緯33° 18.8′ 東経131° 39.7′)	
事故等調査の経過	平成21年2月9日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（門司事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	旅客船 ドリームエメラルド、51トン	
船種船名、総トン数	132598、大分ホーバーフェリー株式会社	
船舶番号、船舶所有者等	船長、五級海技士（航海） 機関長、乗組省略（乗組み基準特例）	
乗組員等に関する情報	なし	
死傷者等	なし	
損傷	右舷浮上用主機（以下「浮上用主機」という。）の冷却用送風機支持台の一部が破損、浮上用主機のピストン及びシリンダライナーにスカフィング	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか1人が乗り組み、旅客47名を乗船させて大分港向け航行中、平成20年12月29日14時02分ごろ、大分港沖で浮上用主機の潤滑油温度が上昇傾向を示したことから同主機の回転数を下げて運航し、大分港に入港した。</p> <p>本船は、入港後、整備担当職員が点検したところ、浮上用主機の冷却用送風機支持台の一部が破損して傾き、同送風機の羽根とケーシングが接触していたことから、浮上用主機を整備工場に搬入して整備業者が点検した結果、ピストン等の損傷が判明し、修理された。</p>	
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 東南東、視界 良好 海象：不詳	
その他の事項	浮上用主機は、強制空気直接冷却方式で、冷却用送風機で各シリンダの外周に設けられたフィンへ風を送って冷却するようになっていた。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>あり</p> <p>なし</p> <p>浮上用主機は、冷却用送風機支持台の一部が破損して傾き、同送風機の羽根とケーシングが接触して風量不足となったため、過熱して潤滑が阻害されたことにより損傷したものと考えられる。</p> <p>支持台が一部破損したのは、浮上用主機運転時の振動等による可能性があると考えられる。</p> <p>就業前後の点検を行う際、整備員が目視等によって適切に点検しておれば、本インシデントは防げた可能性があると考えられる。</p>
原因	本インシデントは、本船が大分港沖を航行中、冷却用送風機支持台の一	

	部が損傷して傾き、同送風機の羽根とケーシングが接触して風量不足となったため、浮上用主機が過熱して潤滑が阻害されたことにより発生したものと考えられる。
備考	支持台を補強するとともに、浮上用機関のチェックリストを見直して日々点検を行うようにした。